

看護師たかこの

すこやか生活

2019年3月

一雨ごとに暖かさがまし、春が近づいています。梅は満開となり、桜のつぼみは膨らみはじめました。青空に色とりどりの花が映え、鳥も元気いっぱい羽ばたいています。春はいいですね。躍動感を感じます。寒さが苦手な私にとっては、待ち遠しい春です。私事ですが、2月の寒いときに仕事で帯広に行きました。雪が少ないところですが、とても寒く、温度は常にマイナスの世界と聞いており、覚悟して行きました。持っているものの中で古いものですが、一番暖かそうなコートや帽子、くつのすべり止めなども持参しました。それほど寒さを感じずに済みました。部屋の中は九州より暖かく、寒い地域は、防寒設備が整っています。今年の冬は寒い北海道を体験しましたので、ことさら待ち遠しい春です。

3月はお別れの月です。卒園や転園される保護者様にとっては、たくさんある幼稚園の中から当園を選んでいただき、ありがとうございました。人間の成長発達の中で一番成長する時期である幼児期に、宮河内幼稚園で過ごしたことは、親子にとってはいかがだったでしょうか。



宮河内幼稚園の教育目標は「1. 元気で明るい子 2. 素直でやさしい子 3. 礼儀正しい子 4. よく考える子 5. 楽しく食べる子」です。育成事項は「1. いろいろな友だちをつくる 2. 集団生活で自立心を育てる 3. ルールの大切さを学ぶ 4. 創造する喜びを知らせる 5. 思いやりと優しい心を養う 6. 豊かな心と自立心を育てる」です。

この教育目標は、宮河内幼稚園を創立した「得丸正信」が信条としていた「礼節の精神」を建学の園訓として掲げ、幼児教育の指針としたものです。創立20周年記念誌に次のように書いています。「教育の基本は、教より育が大事だと思います。育とは『はぐくむ』ことであり、この育の基は愛情であり、愛こそ生命を育て成長させるものだと深く信じております。

宮河内幼稚園の教育の中で、時にはきびしい躰であっても、一貫して流れているものは『愛』でなければなりません。そしてその育の中で、礼節を重んじる精神を芽生えさせ礼節を重んじることにより、『人を敬う心を育てる』ことだと存じます。」

「愛」によって人は生まれ、躰によって、礼節を重んじた「人」として成長することが宮河内幼稚園の信条です。子どもたちの今後の成長を楽しみにしています。

お別れの保護者の皆様にはこの紙面をお借りして、私のつたない文章をお読みいただき、感謝申し上げます。

皆様のご健康とご活躍を、そしていい出会いがあることをお祈りしています。

たかこ